



須坂市立常盤中学校だより

碧 空

平成 24 年
10 月 11 日 (木)

第 11 号

10 月の校長講話 常盤中学校の伝統とは…

先日の校長講話では、常盤中学校の伝統について「五十年のあゆみ」より、校長先生が清掃と合唱について紹介してくださいました。

常盤中学を訪問して 飯山一中 2 年 小川 礼子

一中以外の中学を見たことは文化祭以外にはないのでとっても楽しみだったが、清掃にはとっても驚いた。準備の時は、一中とあまり変わりがなかったのだが、取りかかった途端にもう本当に熱心でいうか一生懸命で見ていて気持ちがよかった。まず、椅子を机の上に乗せて、引きずらず持ち上げて運んでいた。ほうきの人もまじめだったが、雑巾をかけるのに同じところを少なくとも 4 回、多ければ 6 回以上かけていた。

私たちの組は引きずる、ほうきはだいたいはいて隅はとってもじゃないけどまず無理、雑巾は 1 回かければいい方で、忙しい時はかけないこともある。同じ 15 分間でなぜこうも違うのか不思議に思った。

また悪いかと思ったが、清掃用具の数を貼ってあった表とあわせてみた。そしたら、きちんと数通りであって感心してしまった。清掃態度を見たところは、2 年生全体と体育館だったが、どこにも先生がいないのに清掃のお手本のようにやるので「ひょっとしたら一中だけが下手なのではないか」と心配になった。

体育館を見ていた時にちょうど清掃時間が終わったが、反省会をしなかったようだ。もっともあれだけきちんとできていれば、反省会など必要じゃないかもしれない。

(特集記事 常盤中学校の印象「ときわ」32 号)

延暦寺に修学旅行の記念碑 常盤中 3 年生・雨の中 クマスギ植樹・大合唱も

市立常盤中学校(赤堀昭三校長)の 3 年生 232 人の修学旅行で、滋賀県・比叡山延暦寺を訪れ、境内に記念碑を建て、市の木クマスギを植えてきた。

「見学するだけでなく、自分たちのアイディアで心に残る体験を」と計画したユニークな試み。一人ひとりが深い感動を心に刻んだようだった。

同寺を訪れたのは、奈良・京都の寺院を見学するコースの最終日、13 日午後 5 時。本堂にあたる根本中堂(国宝)に向かって右側に、15cm 角長さ 95cm の御影石で作った碑を建て、周辺にクマスギの苗 12 本を植えた。碑の表は、「黎明」と刻み、裏に学校名を記した。

当日は土砂降りの雨。植樹を前に堂内に僧侶の話を聞いて感動した生徒たちは「ここで大地讃頌を歌いたい」と寺側に申し入れ、寺側も OK。半年前から学年全体で練習した曲。植樹祭後碑を囲み、大地・自然・人間を讃えるおおらかな四部合唱が響いた。

折から開山 1200 年祭で 400 年ぶりに御開帳された秘仏の面前。「千載一隅の幸運な出来事。毎日練習してきたみんなの思いが通じたのだろう」と学年主任の竹内修先生。

植樹と外での合唱に続いて、精進料理を食べた延暦寺会館。ここでも職員たちの“アンコール”が起き、3 回目の合唱となった。朗々と古寺の静寂な空気に染みてゆく生徒の声…中学生生活を思い浮かべてか、感激にあちこちからすすり泣きが聞こえてきた。

「写真・思い出づくり係」を作り準備を進めたこの試み。碑と苗は、長野市の石材店と須高森林組合(組合長田中県議)が生徒の心意気に賛同、無償で提供した。

「伸び伸びとした杉のように、自分たちも成長したい」と話していた。

(須坂新聞 62.5.23)

生徒の感想より

清掃は、とても伝統のあるもので、今はその伝統を守るため積極的に黙々清掃に取り組んでいると思います。常盤中の伝統は清掃だけではありませんでした。

常盤祭の音楽会も伝統のあるものでした。私は、それを初めて知りました。そして、合唱では「大地讃頌」が歌われていたことを知りました。このように常盤中は、伝統のある歴史のある学校です。もうすぐ私たち2年生は3年生から引き継がなくてはならない校友会。今日、校長先生のお話を聞いて深く思ったことは、校友会を引き継ぐと同時に常盤中の伝統を守らなくてはならないということです。

今、合唱に力を入れて「大地讃頌」を歌っています。なぜ「大地讃頌」を歌っているか、ちゃんと理由があります。伝統のはずだったこの曲を歌っていない今、私たちからもう一度復活させなくてははいけな

らです。これからより活発に伝統のある学校となるのが理想です。引き継ぐ私たちが、伝統を守っていかなくてははいけない、今だから強く思えます。(2年女子)

常盤中の伝統の黙々清掃は、名前を変えながら「昔からあるんだ」と思いました。他の学校の人から見ても、掃除中の集中度が常盤中は他の学校とは少し違っていただと知りました。今は少し声が掃除中に出ていることがあるので、もしまた他の学校の人 came としても「まだ静かに掃除している」と言ってもらえるような掃除をしていきたいと思しました。

そして、常盤中の影響で他の学校の掃除も静かになっていったら、とてもすごいことだし、そうなればいいと思しました。
(2年男子)

< 第43回 常盤祭(体育会)の一幕より >



大縄跳び

2年生は大人数ながら回数も跳び、大縄跳びのポイントは全校でも上位を占めました。



クラス連合 綱引き

クラスによって、明暗を大きく分けた競技でした。3年2組は全勝の一方、1組連合は屈辱の全敗。得点差が大きく出ました。



全員リレー

各学年、熱い走りと応援が繰り広げられ、見ている者を惹きつけました。

特に、3年生はアンカー勝負にもつれる大接戦。3年3組が4組を振り切りました。

上高井新人体育大会が10月7日・8日のサッカーを皮切りに始まりました。

試合結果は以下の通り(1勝2敗1分 第4位 北信大会出場)です。

△常盤 1-1 高山 ●常盤 0-7 相森 ○常盤 3-1 小布施 ●常盤 0-4 墨坂

チアリーディングの「USAオールスターチャレンジコンペティション2012」が東京駒沢体育館で行われ、ショー・チア部門ジュニア編成(中学生以下)アドバンスで、チーム「コルツ」長野チアリーディングスポーツ少年団 SUZAKA COLTS(須坂コルツ)が優勝に輝きました。須坂コルツの33人は息の合った迫力ある演技で会場を盛り上げ、86.67点を獲得、2位に4点差の大勝でした。(須坂新聞・記事より)

常盤中からは、以下の生徒がメンバーとして参加しました。

元田瑚乃さん、五嶋明里さん、田中春花さん、増田梨沙さん、山岸茉紘さん、山崎千里さん